



FDD基板 改造位置 プロット図
S=N/S

1. 概要

本図面は、PC-9821 が標準で搭載している FD1231T または FD1238T を取り外し、PC/AT 互換機用 FDD を接続する際に FDD に対して改修を行う図面である。

PC-9821 Ls12/D10 への接続は、別途「FDDインターフェイス変換基板回路図」と合わせて改造を行うこと。

2. 材料

JU-257A137P (コントロールチップに BH9571KV を搭載した個体)

3. 改造内容

A. 1、33 番ピンが GND へ接続されているので、パターンを切断する。

B. 34 番ピンがコントロールチップの Disk Change へ接続されているので、「R45」のパターンを切断し、「R46」へ 0ohm の抵抗を新設し、34 番ピンとコントロールチップの Ready を接続する。

C. ドライブ番号を DX1 から DX0 とする必要がある場合に限り、「R42」のパターンを切断し、「R41」へ 0ohm の抵抗を新設する。

D. 33 番ピンと「R45」のコントロールチップ側を接続する。

ただし、「FDDインターフェイス変換基板回路図」を用いて FD1238T 搭載機に接続する場合は接続しない。

4. 特記事項

A. 改造した FDD と PC-9821 を接続する際は、端子のピンアサインに注意すること。

B. 1 番ピンへ 360/300 信号を入力する時は、74HC14 などを用いて信号を反転させること。

工事名称 PC-9821 PC/AT 互換機用 FDD 接続計画 工事設計図

図面名称 JU-257A137P 改修図 縮尺 N / S

試運転の資料館
Library of Shiunten

1
1